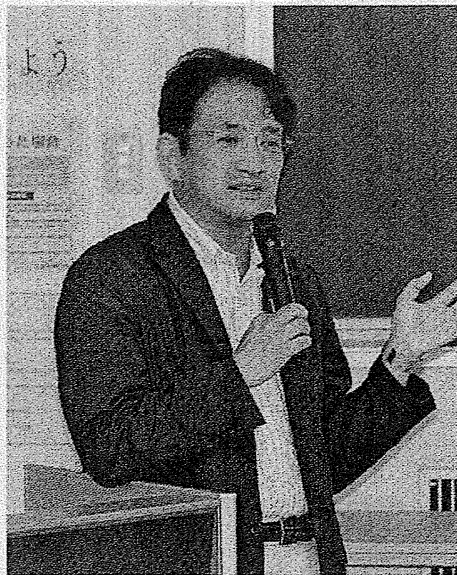


講演する持丸氏



健康ビジネスに戦略を

弘太
COI データ活用で講演

弘前大学COI特別 動向」と題し講演した。

講演会が23日、同大大 同講演会は、弘大、

学院医学研究科で開か 自治体、民間企業など

れ、産業技術総合研究 が連携して脳卒中や認

所人間情報研究部門部 知症の早期予兆発見、

門長の持丸正明氏が 予防法開発に取り組む

「IoT時代のヘルス プロジェクトの研究拠

ケアサービスにおける 点「COI拠点研究推

オープン標準化戦略と 進機構」事業の一環と

して開催された。

持丸氏は、合意でつくる国際標準について説明し、標準というルールづくりに参加し、イニシアチブを取るなどの戦略の必要性を指摘。

ヘルスケアの国際標準化動向にも触れながら、IoT時代に、大学などの実験室で計測・蓄積する精緻なディープデータと、ウェアラブル端末などを通して生活場面で収集・蓄積するビッグデータを掛け合わせた新しい健康サービスの提供においては「重要なくいえる握るステークホルダーになることが大切。あらゆる健康のビジネスをや

ろうとしているとき、極めてディープなデータを持っているのと外すことはできない。そのためには、いかに貴重で、みんなが欲しがらディープデータを集めるか、それが戦略になる」と話した。

(西尾瑛)